

# オーガニック繊維に関する認証取得に向けた取り組み事例

- ・ オーガニック原料の使用による環境負荷低減を含むサステナビリティの推進

## カイハラ株式会社における事例

### 取組み概要

#### OCS国際認証取得に対する社内体制整備

- 近年では環境への配慮が、近隣地域や日本国内だけでなく地球全体規模で求められており、カイハラではより包括的な環境保全活動を行い、新たに「カイハラ環境方針」を定めた。
- 専門性の高い分野でもあり、社内で認証に関するチームを作り、多様な国際認証の動きに対応している。
- OCS（Organic Content Standard）は有機栽培による含有物を検証し、供給源から最終製品まで追跡する認証基準である。
- 同社の有機栽培によるコットンはすべてOCS 第三者認証を取得し、製品に使用している。
- オーガニック繊維に関してさらに厳しい基準となるGOTS（Global Organic Textile Standard）の認証取得を進めている。

### 効果

- グローバルでは取引の最低条件となっているため、海外顧客に向けては取得が必須となっている。

### 企業名



カイハラ株式会社

### 設立年

1893年

### 売上高

非公開

### 企業概要

- デニム素材の一貫生産（紡績、染色、織布、整理加工）及び販売